



Nobunaga Oda  
織田  
ガイドブック

信長



# 信長のふるさと愛知。

織田信長に関する書籍は多い。すでに語り尽くされた感すらある。しかし各自治体が連携し、フィールドワークのみで作成した観光ガイドブックは初めてではないだろうか。

それだけに「地元しか知らない事実」や、デスクワークとは異なる「現場ならではの視点」が幾つか見つかった。

本書では、信長の年齢ごとに6つの観光コースを設定。

エリアが広範囲のため「クルマでの移動」を基本とするが、

コースによっては、電車や徒歩での移動も可能である。

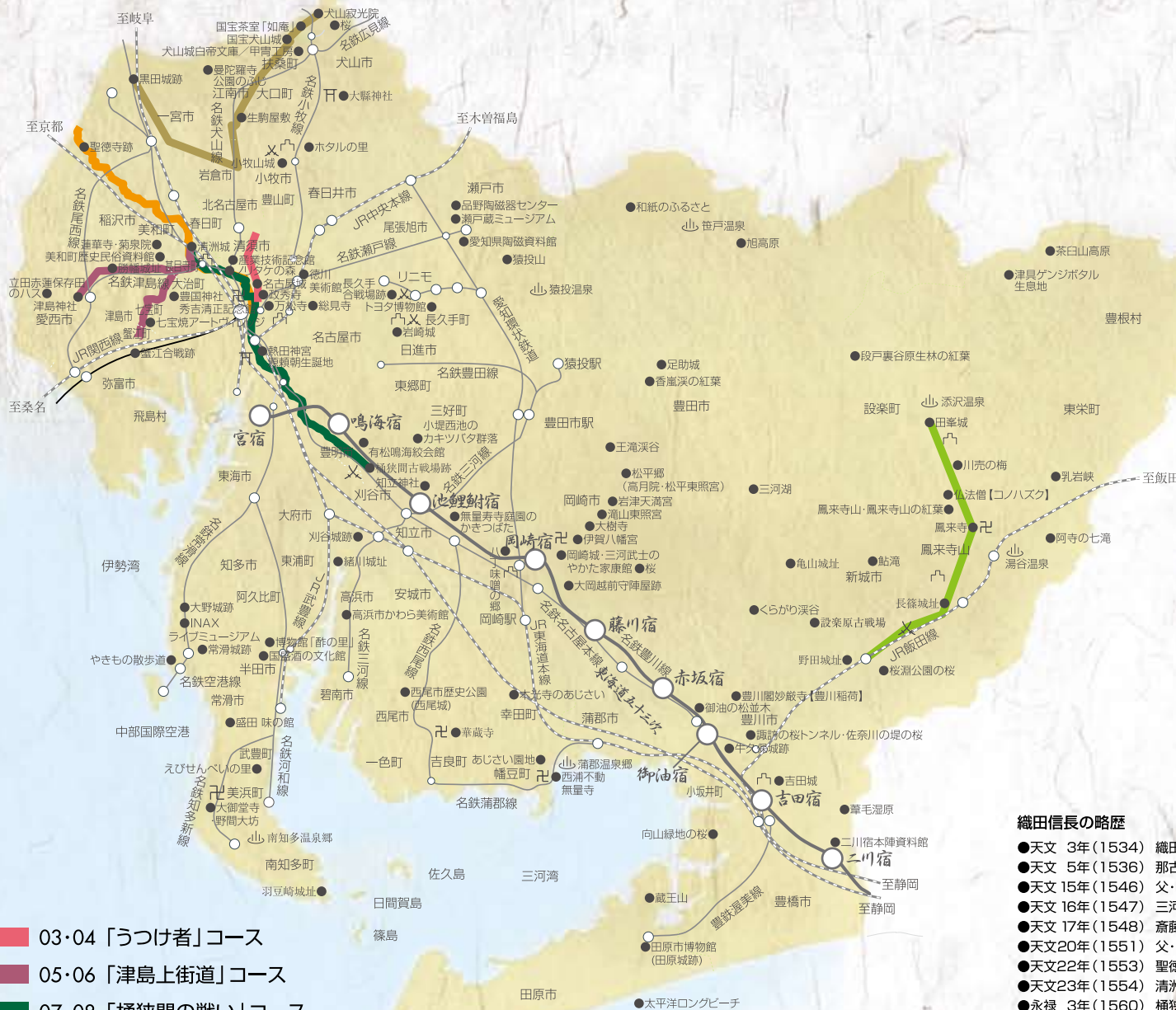
信長は※勝幡城で生まれ、那古野城に21年、清洲城に9年、小牧山城に4年在城した。34歳の時、尾張から天下へ駆け登った。

## 織田信長の略歴

- 天文 3年(1534) 織田信秀の3男として\*勝幡城で誕生。幼名・吉法師。
- 天文 5年(1536) 那古野城城主となる(2歳)
- 天文 15年(1546) 父・信秀の居城・古渡城で元服(13歳)
- 天文 16年(1547) 三河・吉良に初陣(14歳)
- 天文 17年(1548) 斎藤道三の娘・濃姫と結婚(15歳)
- 天文20年(1551) 父・信秀死去、家督を継ぐ(18歳)
- 天文22年(1553) 聖徳寺で斎藤道三と会見(20歳)
- 天文23年(1554) 清洲城攻略、清洲城城主となる(21歳)
- 永禄 3年(1560) 桶狭間の戦い(27歳)
- 永禄 5年(1562) 清洲城で松平元康(徳川家康)と会見し同盟を結ぶ(29歳)
- 永禄 6年(1563) 小牧山城を築城。室・吉乃の御殿も建てる(30歳)
- 永禄 7年(1564) 犬山城を攻略。尾張全土を完全制覇(31歳)
- 永禄 10年(1567) 美濃(岐阜)を制し、「天下布武」を宣言する(34歳)
- 天正 3年(1575) 長篠の戦い(42歳)
- 天正 10年(1582) 本能寺で自害(49歳)

※織田信長の生誕地は、那古野城説と勝幡城説があり、現在は勝幡城説が有力です。

- 03・04 「うつけ者」コース
- 05・06 「津島上街道」コース
- 07・08 「桶狭間の戦い」コース
- 09・10 「美濃路」コース
- 11・12 「戦国の女性たち」コース
- 13・14 「長篠の戦い」コース

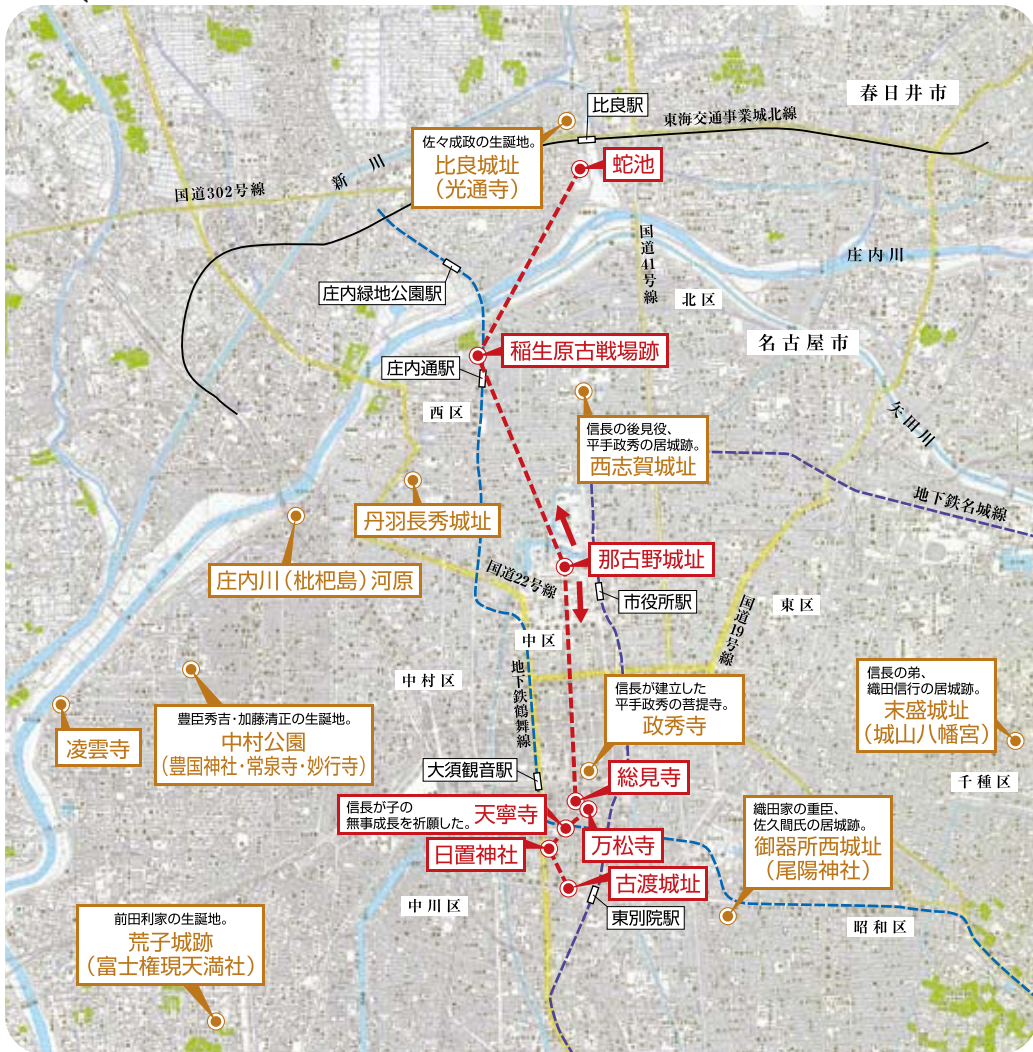


●伊良湖岬・伊良湖岬の渡り鳥  
●伊良湖岬  
●忍路ヶ浜  
●日出の石門  
●片浜十三里

●太平洋ロングビーチ



## 「うつけ者」コース



古渡城址 くらま約5分	日置神社 くらま約5分	大須 (総見寺・万松寺・天寧寺) くらま約15分	那古野城址 (名古屋城二之丸) くらま約15分	稲生原古戦場跡 (庚申塚) くらま約20分	蛇池 くらま約15分	うつけ者コース
----------------	----------------	--------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	---------------	---------

- 蛇池／図東海交通事業城北線「比良」駅徒歩4分、地下鉄鶴舞線「庄内緑地公園」より市バス「蛇池神社前」下車②無料
- 稲生原古戦場跡／図地下鉄鶴舞線「庄内通」徒歩3分②なし
- 那古野城址(名古屋城)／図052-231-1700(名古屋城管理事務所) 図9:00～16:30(天守閣は16:00まで) 図12/29～1/1 図500円(中学生以下無料)
- 図地下鉄名城線「市役所」駅徒歩5分②有料
- 大須(総見寺・万松寺・天寧寺)／図052-262-0735(万松寺) 図地下鉄鶴舞線「大須観音」駅、地下鉄 鶴舞線・名城線「上前津」駅から周遊徒歩60分
- ②なし(近隣に有料駐車場)
- 日置神社／図地下鉄名城線「東別院」駅徒歩8分②なし(近隣に有料駐車場)
- 古渡城址／図地下鉄名城線「東別院」駅徒歩3分②無料(東本願寺別院)

馬を駆け、川で泳いだ「信長の青春」。  
大切なことは、すべて那古野で学んだ。



名古屋市内に点在する織田信長の足跡をたどると、「信長の青春」が生々しく甦ってくる。

信長は那古野城を居城とし、手習いは凌雲寺・熱田・瀬之寺に通っていた。

主な遊び場は庄内川の河原で、「信長公記」には「15、16歳の頃まで朝夕に馬術の稽古をし、川で水練。

家来たちには竹槍で仕合をさせていた」と記されている。

奇異な言動から「うつけ者」と嘲笑されていたが、その非常識さが、中世の価値観を破壊し、近世の扉を開いた。

幼少期から21歳まで、信長が那古野城にいたことは、意外と知られていない。

※「信長公記」・織田信長に関する古文書で、最も信頼できる資料。



総見寺

信長の墓がある。次男・信雄が信長の菩提として清須に建立。「清須越」で大須へ移った。



那古野城址(名古屋城二之丸)

信長が21年間城主を務めた那古野城址。猿面茶席は信長と秀吉に由縁がある。



稲生原古戦場(庚申塚)

この戦いで、実弟・信行と戦い、跡目争いにけりを付けた。母・土田御前は弟を可愛がった。



蛇池

「大蛇を見た」という噂を聞き、信長自らが池に飛び込み捜索した、という伝説の池。



古渡城址

熱田湊を支配するため父・信秀が築城し勝幡城に移った。信長は、この城で元服した。



日置神社

桶狭間への出陣の途中、信長が戦勝を祈願した。勝利のお礼に千本の松を寄進した。



庄内川(枇杷島)河原

家来を引き連れ、庄内川で泳ぎ、河原で竹槍の訓練。信長が最も通った遊び場だ。



万松寺

父・信秀が建立。父の葬儀の際、うつけ者・信長が、仏前に抹茶を投げつけた逸話で有名。

## TOPICS



『絵本 太閤記』より

「新斬すて理解されなかつた、信長のうつけファクション」。

青年期までの信長は「うつけ」と呼ばれ奇抜なファッションで有名だった。大成してから変わらず、南蛮や中国のファッションで周囲の度肝を抜いたという。信長は服装に関しても常識に縛られず最先端を行っていた。



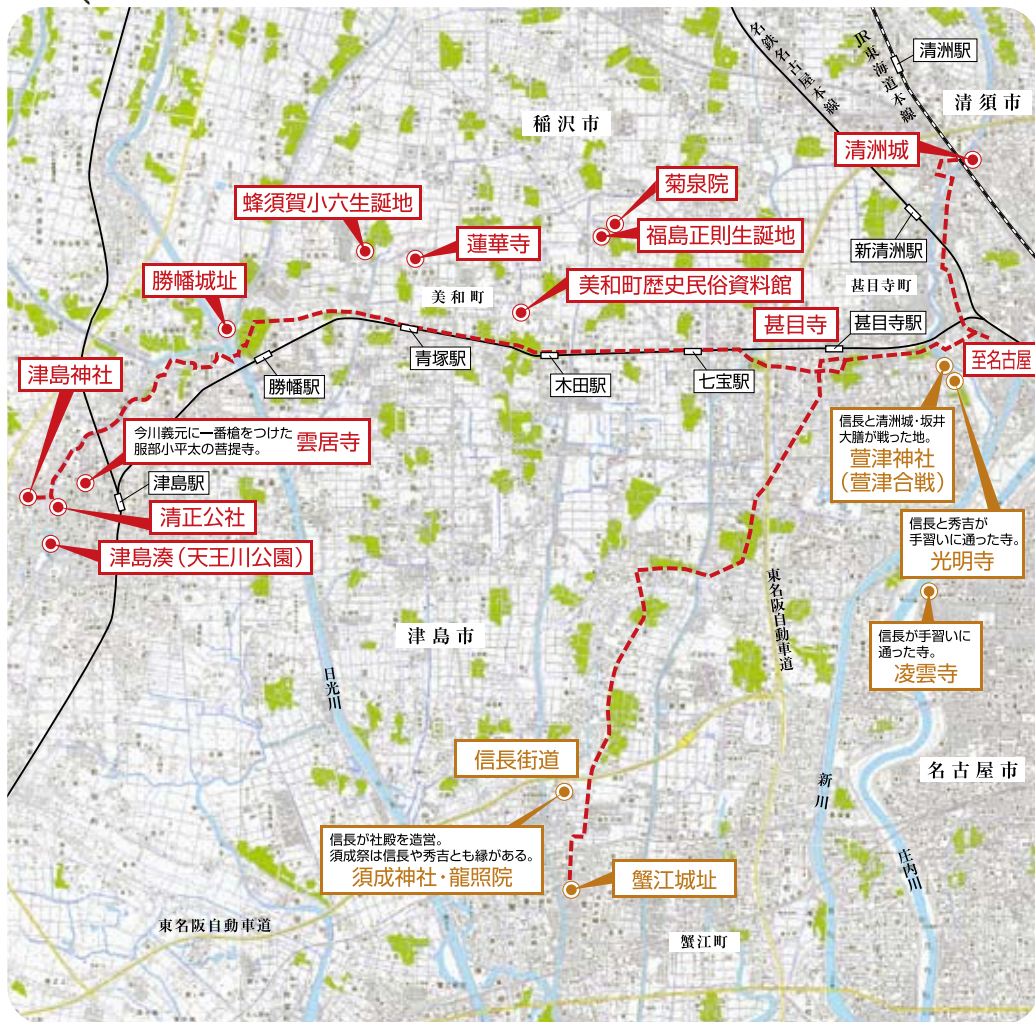
名古屋城本丸御殿 復元イメージ図

名古屋開府400年を記念して、名古屋城本丸御殿が復元される。





## 「津島上街道」コース



那古野城址	清洲城	甚目寺	福島正則生誕地・菊泉院	美和町歴史民俗資料館	蓮華寺	勝幡城址	津島 (津島神社・津島湊・清正公社・雲居寺)	津島上街道コース
クルマ約20分	クルマ約15分	クルマ約15分	クルマ約10分	クルマ約10分	クルマ約10分	クルマ約10分	クルマ約15分	

- 津島／図0567-28-8051 (津島市観光協会) 0567-28-8051 (津島神社) 図名鉄津島線「津島」駅から周遊徒歩60分 図無料
- 勝幡城址／図名鉄津島線「勝幡」駅徒歩8分 図なし
- 蜂須賀小六生誕地・蓮華寺／図名鉄津島線「青塚」駅徒歩10分 図なし
- 美和町歴史民俗資料館／図052-442-8522 図9:00～16:00 (土曜は9:00～12:00) 図木曜、祝日、年末年始 図無料 図名鉄津島線「木田」駅徒歩15分 図無料
- 福島正則生誕地・菊泉院／図名鉄津島線「七宝」駅から徒歩25分 図なし
- 甚目寺／図052-442-3076 図名鉄津島線「甚目寺」駅徒歩5分 図無料
- 清洲城／図052-409-7330 図9:00～16:30 図月曜 (月曜日が祝日の場合は翌日)、12/29～12/31 図大300円 小中150円
- 図名鉄名古屋本線「新清洲」駅徒歩15分・JR東海道線「清洲」駅徒歩15分 図無料
- 那古野城址 (名古屋城)／図052-231-1700 (名古屋城管理事務所) 図9:00～16:30 (天守閣は16:00まで) 図12/29～1/1 図500円 (中学生以下無料) 図地下鉄名城線「市役所」駅徒歩5分 図有料



織田家3代の飛翔は、この地からはじまった。  
「信長の台所」津島を訪ねる。

古地図を見ると「尾張」に対するイメージが変化する。木曾川、長良川など多くの河川が入り乱れ、網の目のように陸を囲んでいる。尾張が川湊が発達した理由が、ここにある。なかでも津島湊は、水と交通の要衝としてカネモノ、情報が集散し、尾張最大の湊「門前町」飲食街として繁栄した。町づくり、資金調達、流通経済、娯楽、情報ネットワークなど、その後の信長の政策の多くは津島を基盤にしていた。「津島上街道」は、那古野城や清洲城から、信長が何度も馬で駆けつけた道。「信長街道」は、清洲城攻略の際の進軍ルートだと伝わる。



**勝幡城址**  
信長生誕の地。津島湊を支配するため祖父・信定が築城。信秀・信長と続く織田家3代の聖地。



**清正公社**  
加藤清正が、中村から津島に移り住んだ。清正の盗賊退治の逸話が「鬼祭り」になった。



**津島湊 (天王川公園)**  
戦国期「織田家の資金源」といわれた。現在は天王川公園となり昔の面影を残す。



**津島神社 (牛頭天王社)**  
織田家が氏神と仰いだ天王社の総本山。信長はじめ豊臣一門も楼門・南門を寄進した。



**蟹江城址**  
小牧・長久手の「蟹江合戦」では、豊臣軍・堀川一益の城となり、徳川方に攻められ落城した。



**福島正則生誕地**  
豊臣忠臣ながら、関ヶ原の戦いで東軍の先陣を切る。堀川の堀削にも尽力した。



**美和町歴史民俗資料館**  
蜂須賀小六、福島正則、豊臣秀次など多くの武将を輩出した美和町。武将関連の資料が充実。



**蜂須賀小六生誕地 (蜂須賀神社)**  
蜂須賀氏は木曾川の川並衆であった。小六は信長、秀吉に仕え徳島藩の藩司となる。

## TOPICS



阿波踊りのルーツといわれる信長の女踊り。

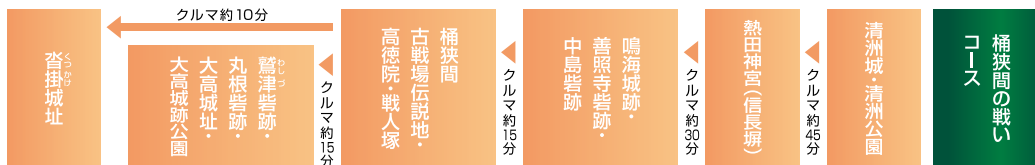
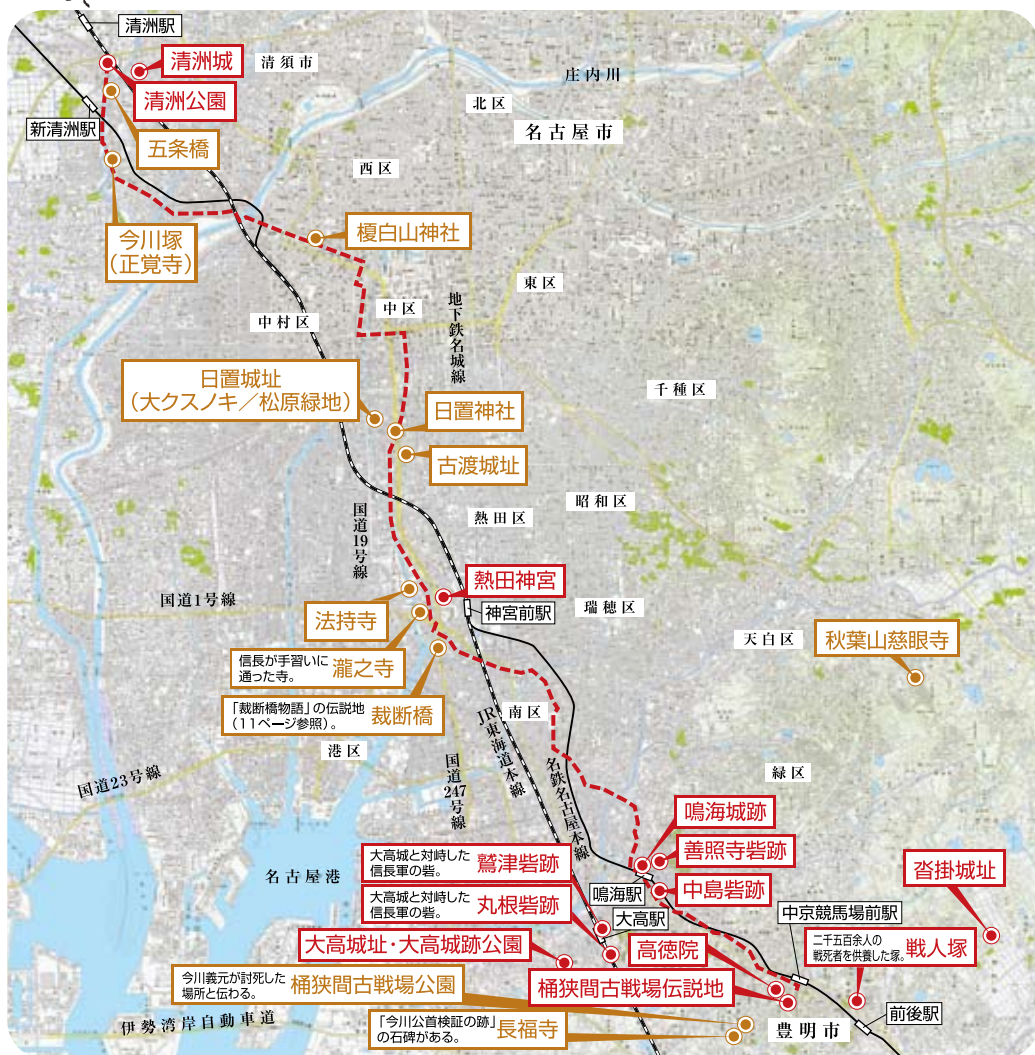
「信長公記」には、信長が津島の堀田道空の屋敷で踊りを興行したと記されている。しかも女たちの衣装で、小鼓を打って女踊りを舞ったという。この踊りが津島「くわわ踊り」の原型であり、蜂須賀氏を介して阿波踊りのルーツにもなった。



江戸中期の尾張絵図より



## 「桶狭間の戦い」コース



- 洲崎線・洲崎公園** 洲崎駅 図0562-409-7330 図9:00～16:30 図9月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)・12/29～12/31 図大300円小中150円  
 図各駅名古屋本線 新洲崎 駅徒歩15分 JR東海道線「洲崎」駅徒歩15分 図無料  
 ●**熱田神宮** 図0562-671-4151 図各駅名古屋本線「神宮前」駅徒歩3分 図無料  
 ●**鳴海城跡・善照寺跡・中皇跡** 図各駅名古屋本線「鳴海」駅から周遊徒歩60分 図駅周辺に有料駐車場  
 ●**横須賀岡戰場伝説地・高徳院** 図0562-98-8300 (高徳院) 図各駅名古屋本線「中京競馬場前」駅徒歩5分 図無料 (高徳院)  
 ●**数人家** 図各駅名古屋本線「前後」駅から徒歩15分 図なし  
 ●**鷺津御跡・丸根磐跡・大高城址・大高城跡公園** 図JR東海道線「大高」駅から周遊徒歩60分 図「大高」駅前に有料駐車場  
 ●**善母寺城址** 図各駅名古屋本線「前後」駅から徒歩15分 図無料

桶狭間の戦いについて「信長公記」には、信長は午前4時に清洲城を出陣し、12 kmの距離を二気に馬で駆け、午前8時に熱田神宮に到着した」と記されている。ここで疑問が生じる。12 kmの距離に、なぜ馬で4時間もかかったのか？ その理由は、途中で榎田山神社、日置城（オクスノキ）、日置神社、法持寺に立ち寄り、戦勝祈願をしているからである。戦国期、神社や仏閣は皆の役割もはたしていたので、人集めを兼ねての参拝だったのかもしれない。その後、信長の進軍ルートは、直進説と迂回説に分かれるわけだが、天白区の秋葉山慈眼寺にも「信長が戦勝祈願をした」という記録が残っている。永禄3年（1560）5月19日、わずかに2千の信長軍が2万5千の今川義元軍を破る。信長27歳、日本の歴史を変えた瞬間である。



普照寺塔跡

信長軍の前線基地。今川軍に奪われた鳴海城を、丹下砦、善照寺砦、中島砦で包囲した。



熱田神宮(信長堀)

桶狭間へ向かう途中に戦勝祈  
願し、後に信長塀を寄進。長篠  
の戦いでも祈願した。



清洲公園(信長像)

古城跡は公園となり桶狭間を見据える信長像が建つ。甲冑工房では試着体験が楽しめる。



清洲城

戦国期「天下の名城」と称された。信長は21歳で城主となり、尾張統一の拠点とした。



大高城址

今川軍の前線基地。信長軍に兵糧攻めされたが、徳川家康が兵糧を運び危機を救う。



沓掛城址

今川義元が桶狭間の戦いの前日に宿営したといわれる。今は史跡公園となっている。



高德院

境内には義元公の仏式墓所や亡霊を鎮めるために建立したお化け地蔵等がある。



桶狭間古戦場伝説地(国指定史跡)

織田信長軍と今川義元軍がこの附近一帯で戦った。<sup>\*</sup>伝説地には今川義元の墓が建つ。

※合戦の地については諸説あります。

## TOPICS



元隊など、約100名の壮に練り歩き、「桶狭間の戦い」の合戦劇を再現する。毎年6月上旬に開催。「桶狭間の戦い」から450年を迎える2010年は、記念イベントを開催予定。



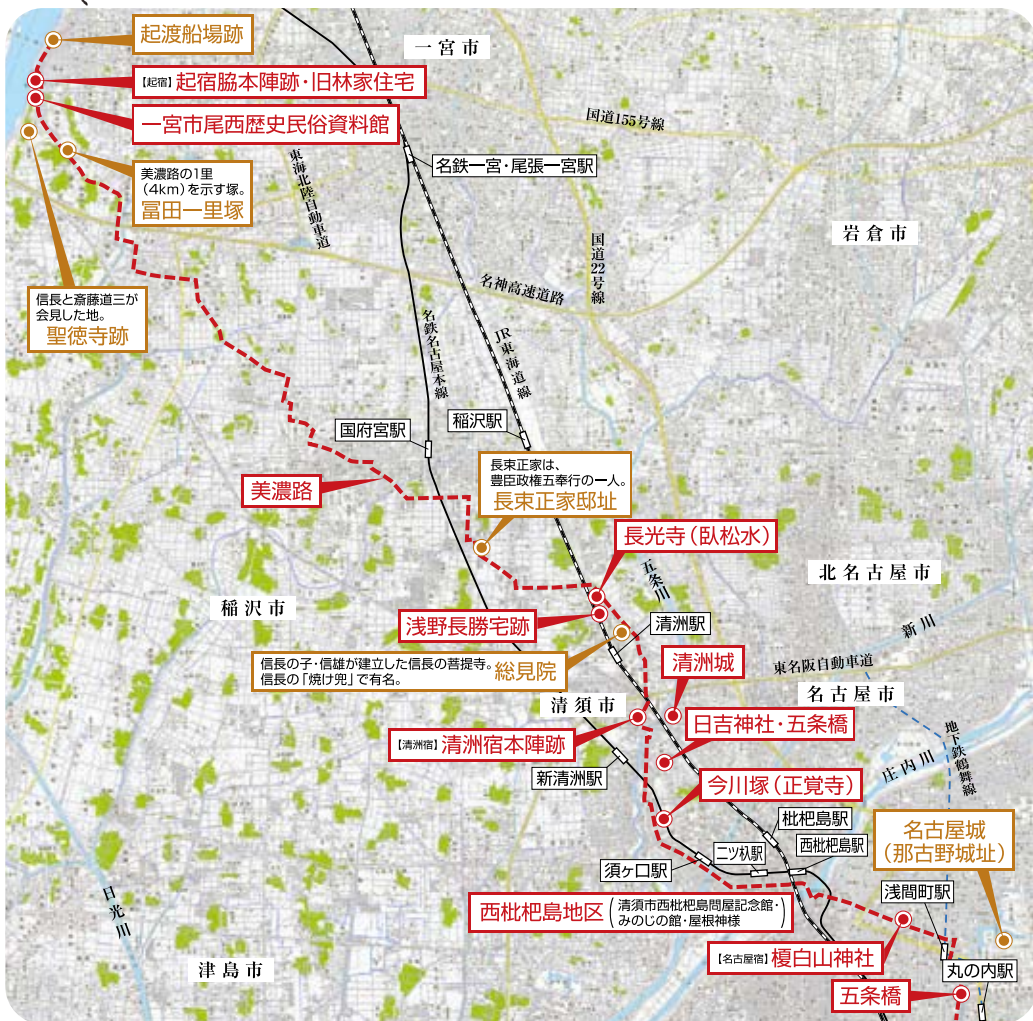
信長・濃姫をはじめ勇  
壮な信長軍が清洲城下  
を練り歩く。市民も手  
作りの甲冑などで参加  
する戦国まつり。清洲  
城ひろばでは戦国イベ  
ントや火縄銃の実演も  
開催し、一大戦国絵巻が  
展開される。毎年10月  
上旬に開催。



『桶狭間今川義元血戦』（豊明市教育委員会蔵）より



## 「美濃路」コース



**日吉神社**  
豊臣秀吉の幼名「日吉丸」の  
由縁。秀吉の母・なかが祈願し、  
秀吉を授かった、といわれる。



**清洲宿本陣跡**  
江戸時代、美濃路最大の本陣。  
地震や火災に遭い、現在は正  
門のみが残る。



**浅野長勝宅跡・長光寺**  
浅野長勝は秀吉の妻ねねの養父。近くの長光寺には信長愛飲の井戸「臥松水」がある。



おとし  
起宿脇本陣跡(旧林家住宅)  
繁米が偲ばれる脇本陣跡。伊  
設する一宮市尾西歴史民俗資  
料館の別館として建物を公開。



**五条橋**  
「清須越」により清須の五条橋を名古屋に移築した。当時の擬宝珠は名古屋城で展示中。



**榎白山神社**  
信長が、桶狭間へ向かう途中に戦勝を祈願。後に太刀を寄進したと伝わる。



清須市西枇杷島問屋記念館  
「屋根神様」など、美濃路の風情が色濃く残る。問屋記念館は当時の商家を移築した。



**今川塚・正覚寺**  
「桶狭間の戦い」の凱旋途中、今川塚を築き、義元を篤く弔った。正覚寺内に今川塚がある。

清洲城攻略、道三との会見、桶狭間へ出陣……  
「美濃路」は織田信長の出世街道。



織田信長にとって「美濃路」は、特別な道である。

濃姫の輿入れ、義父・斎藤道三との会見  
清洲城攻略、桶狭間への出陣……。

信長の人生を変えた大きな出来事は  
この一本の道で起こった。

「美濃路」は、信長の次男・信雄が幅5間(9m)の道路に改修させたのが始まりといわれ、東海道宮宿と中山道垂井宿を結ぶ脇街道として、ほぼ「鎌倉街道」に重なるように整備された。

江戸期、清須から名古屋へ「清須越」が行なわれ、

朝鮮通信使、琉球王使、

ベトナムからの象も街道を賑わせた。

関ヶ原の戦いの後、徳川家康がこの道を通って凱旋した由縁から、「吉例街道」とも呼ばれている。

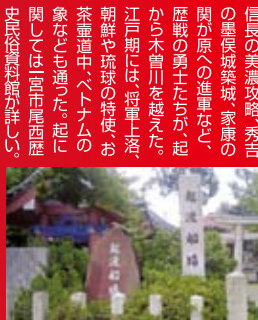
目的地	徒歩所要時間
美濃路コース	約15分
一宮市尾西歴史民俗資料館・起宿脇本陣跡(旧林家住宅)	約45分
浅野長勝宅跡・長光寺(臥松水)	約5分
清洲宿本陣跡・清洲城・五条橋	約10分
日吉神社	約10分
今川塚(正覚寺)	約15分
(西枇杷島地区) 清須市西枇杷島問屋記念館・みのじの館・屋根神様	約15分
櫻白山神社	約5分
五条橋	約5分

- ①宮市尾尾田史民俗資料館・朽木館・新陣跡（旧林家村）[図](#) 0586-62-9711 [図](#) 9:00～17:00 図月曜、祝日の翌日、年末年始 図無料・レンタル自転車（2台・無料）  
 ②宮市鎮名古屋本館 名鉄一宮駅・JR東海道本線「尾張一宮」駅から名鉄/バス15分 図無料  
 ③浅野路跡・長光寺 [図](#) JR東海道本線「清洲」駅徒歩10分 図無料  
 ④清洲本陣跡 [図](#) 名鉄名古屋本館「新清洲」駅徒歩15分 図なし（清洲公園の無料駐車場の利用可）  
 ⑤日吉神社・五条橋 [図](#) 052-400-2402（日吉神社） 図名鉄名古屋本館「新清洲」駅徒歩10分 図無料（日吉神社）  
 ⑥今川様（正覚寺）[図](#) 名鉄名古屋本館「須ヶ口」駅徒歩10分 図無料  
 ⑦清須市西枇杷島閤間記念館・みゆの館・屋根様館 清須市西枇杷島閤間記念館は [図](#) 052-502-7575 [図](#) 10:00～16:00 図月曜、祝日の翌日、12/28～1/4 図無料、みゆの館は 図木曜・土曜開館無料 [図](#) JR東海道本線「枇杷島」駅から周遊90分 図なし（枇杷島駅周辺に有料駐車場）  
 ⑧櫻白神社 [図](#) 地下鉄鶴舞線「浅瀬町」駅徒歩10分 図なし  
 ⑨白山橋 [図](#) 地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅徒歩5分 図なし（近くに有料駐車場）

## TOPICS

美濃路を練り歩く「勇壮華麗な山車」。  
清須市「尾張西枇杷島まつり」。

江戸の神田、大坂の天満と並び日本三大市場  
として知られる枇杷島市場。かつての賑わい  
と繁栄を思わせる  
のが「尾張西枇杷  
島まつり」だ。江戸  
の風情が残る美濃  
路に、5輦の山車が  
練り歩く様は圧巻。  
毎年6月の第1土  
曜日に開催。



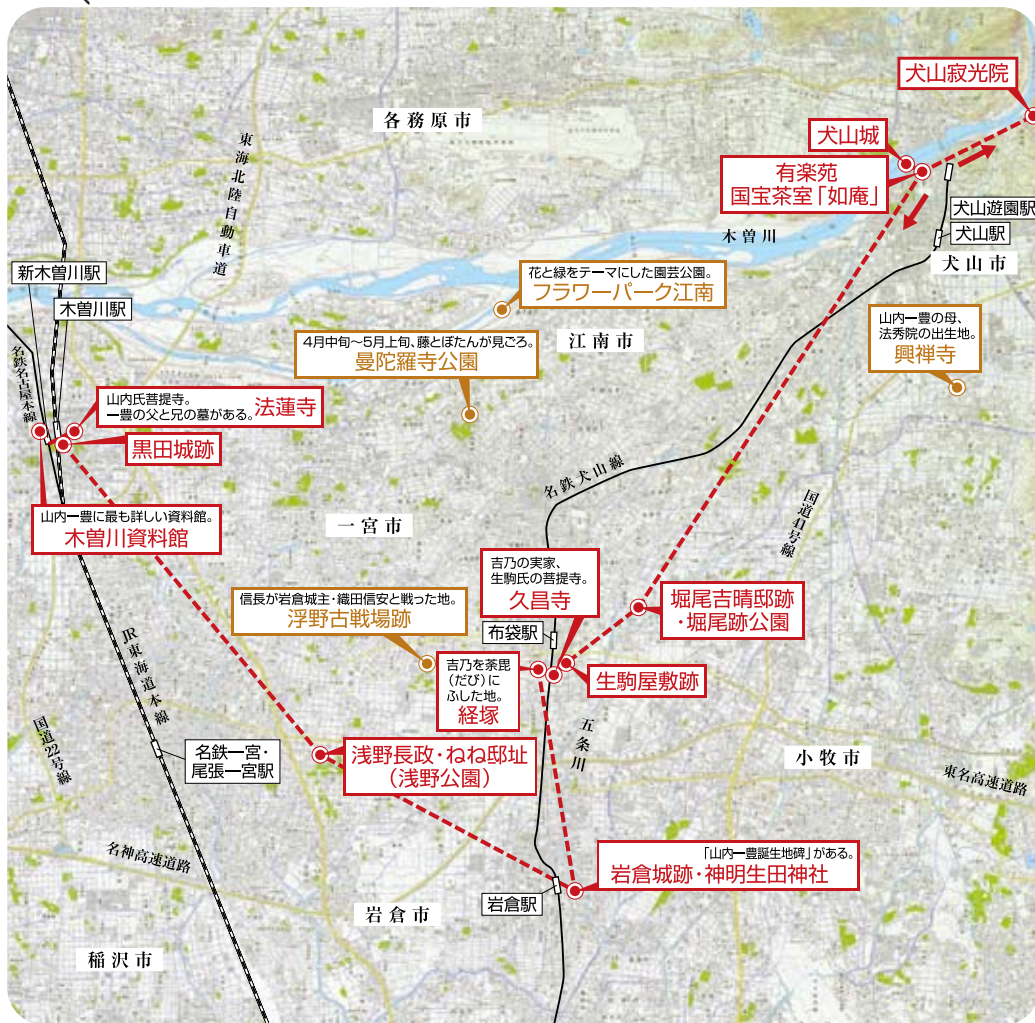
織田信長、豊臣秀吉、徳川家康など、大勢の戦国武将たちが、「起のおし渡船場とせんじょう」から木曽川を越えた。



享保14年(1729)美濃路を通り江戸へ向かう象  
『尾張名所図会』より



## 「戦国の女性たち」コース



強く、優しく、美しく。  
物語でつづる、女性たちの戦国史。



「武」が何よりも優先された戦国時代、女性の地位は低かった。

時に政略の具となり、合戦の犠牲者にもなった。

このコースでは、時代に翻弄されながらも、強く、優しく、美しく生き抜いた

信長ゆかりの5人の女性を訪ねる。

信長に、犬山城を追われた美姉 犬山殿。

信長最愛の女性、吉乃。

小田原の戦いで息子を亡くした堀尾金助の母。

岩倉城陥落で、一家が離散した山内一豊の母 法秀院。

二人三脚で、天下を手にした豊臣秀吉の妻 ねね。

5つの物語でつづる、女性たちの戦国史。



**堀尾跡公園**  
堀尾氏の発祥地。現在は、堀尾金助とその母の「裁断橋物語」を再現した公園になっている。



**犬山寂光院**  
信長が「清洲城の鬼門鎮護の靈利」と崇めた。紅葉の名所としても知られている。



**有楽苑（国宝茶室「如庵」）**  
信長の弟・織田有楽斎が、京都の正伝院を再興し隠居。その茶室を移築した。



**国宝・犬山城**  
信長の叔父・織田信康が築城。信長は、信康の息子・信清を攻略し尾張統一。天守閣は国宝。



**黒田城跡**  
山内一豊の生誕地。岩倉城の支城で、一豊の父・盛豊が城代を務めていた。



**浅野長政・ねね邸跡（浅野公園）**  
豊臣秀吉の妻ねねの碑が建つ。浅野長政やその養子長政、養女ねねの屋敷跡。



**岩倉城跡**  
尾張下4郡の統一後、上4郡を支配する岩倉城を攻略。その際、一豊の父・盛豊が戦死した。



**生駒屋敷（小折城）跡**  
信長の室・吉乃の生家。豪商・生駒屋敷には、各地から人と情報が集まっていた。

※山内一豊の生誕地は、黒田城説と岩倉城説があります。

## TOPICS

政略結婚の犠牲者「犬山殿」。

犬山城攻めで、信長の尾張統一が完結する。犬山城主の妻は、実の姉・犬山殿であった。政略結婚の犠牲者はお市の方だけではなく、

ラストリーのヒロイン「吉乃」。

信長に最も愛され信忠、信雄、徳姫と3人の子をもうけた吉乃。小牧犬山城には御殿も新築。吉乃の死に、あの信長が涙を流したと伝わる。

子を想う親心「堀尾金助の母」。

最愛の息子が合戦に向かう途中、病に倒れ命を落とす。母は、息子の供養にと「見送った熱田 裁断橋」を修築。擬宝珠に銘文を刻んだ。

天下を左右した女性「ねね」。

戦国女性の鑑「ねね」。夫・秀吉を陰で支え、天下人の妻となる。秀吉の死後も、多くの武将たちに慕われ84歳の生涯を全うする。

敗者復活にかけた「山内一豊の母」。

岩倉城・黒田城の落城で夫と長男を失う。山内家の復興と一豊の出世だけを希望に、法秀院は各地を放浪。一豊を戦国大名へと育てた。



「桜の名所100選」に選ばれた五条川の桜（岩倉市～江南市～大口町）

戦国の女性たち コース	犬山寂光院 クルマ約10分	国宝・犬山城 クルマ約10分	有楽苑 （国宝茶室「如庵」） クルマ約20分	堀尾跡公園・ 堀尾吉晴邸跡 クルマ約10分	生駒屋敷跡・ 久昌寺 経塚 クルマ約20分	岩倉城跡・ 神明生田神社 クルマ約15分	浅野長政・ねね邸跡 （浅野公園） クルマ約20分	黒田城跡・法蓮寺・ 木曾川資料館 クルマ約20分
----------------	------------------	-------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	--------------------------------	--------------------------------

●寂光院／国0568-61-0035 図名鉄犬山線「犬山」駅徒歩約20分・「犬山遊園」駅徒歩約30分 無料

●国宝・犬山城／国0568-61-1711 国9:00～17:00 休12/29～12/31 国大500円小中100円 図名鉄犬山線「犬山遊園」駅徒歩15分・「犬山」駅徒歩20分 図有料

●有楽苑（国宝茶室「如庵」）／国0568-61-4608 国9:00～17:00（夏～18:00 冬～16:00） 図無休 料一般1000円・呈茶500円

図名鉄犬山線「犬山遊園」駅徒歩7分・「犬山」駅徒歩20分 無料

●堀尾跡公園・堀尾吉晴邸跡／図名鉄犬山線「布袋」駅徒歩30分 図無料

●生駒屋敷跡・久昌寺・経塚／図名鉄犬山線「布袋」駅徒歩15分 図無料（久昌寺）

●岩倉城跡・神明生田神社／図名鉄犬山線「岩倉」駅徒歩5分 図無料（神社に隣接する公園内）

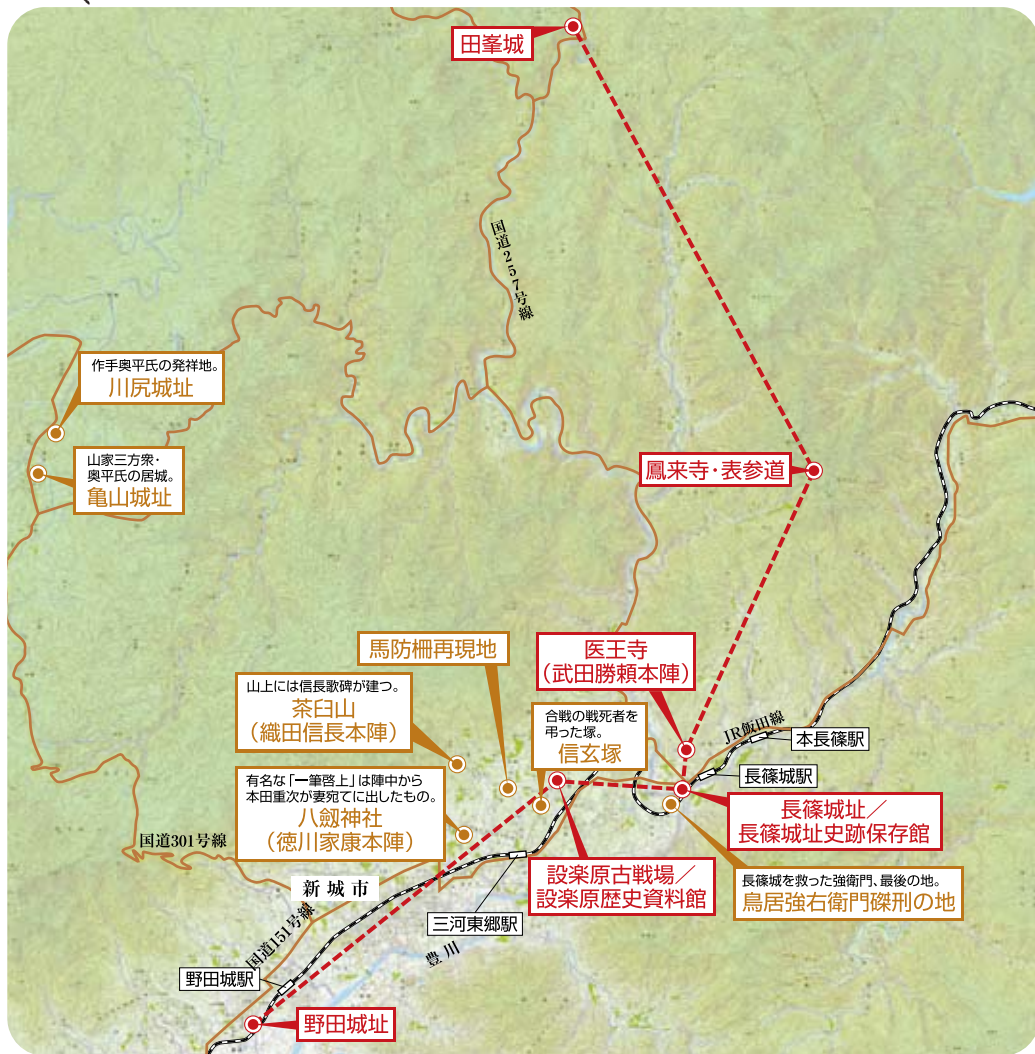
●浅野長政・ねね邸跡（浅野公園）／図名鉄犬山線「名鉄一宮」駅・JR東海道線「尾張一宮」駅から名鉄バス10分 図無料

●黒田城跡・法蓮寺・木曾川資料館／国木曾川資料館は0586-87-5197 国9:30～17:00 国月曜、祝日の翌日、12/28～1/4 図無料

図名鉄名古屋線「新木曾川」駅徒歩3分・JR東海道線「木曾川」駅徒歩15分 図無料（隣接する木曾川商工会館）



## 「長篠の戦い」コース



田峯城	鳳来寺・表参道	医王寺	長篠城址・ 長篠城址 史跡保存館	設楽原 歴史資料館	設楽原古戦場・ 設楽原歴史資料館	野田城址	長篠の戦い コース
クルム約30分	クルム約30分	クルム約3分	クルム約3分	クルム約20分	クルム約30分		

- 野田城址／園0536-32-0022 (新城市観光協会) 園東名「豊川IC」より10キロ、JR飯田線「野田城」駅徒歩10分回なし
- 設楽原古戦場・設楽原歴史資料館／園0536-22-0673 園9:00～17:00 (入館は16:30まで) 園火曜(火曜が休日の場合は翌日)、年末年始 園高校生以上300円小学生100円園東名「豊川IC」より17キロ、JR飯田線「三河東郷」駅徒歩15分回無料
- 長篠城址・長篠城址史跡保存館／園0536-32-0162 園9:00～17:00 (入館は16:30分まで) 園火曜(火曜が休日の場合は翌日)、年末年始 園高校生以上210円小学生100円園東名「豊川IC」より19キロ、JR飯田線「長篠城」駅徒歩8分回無料
- 医王寺／園0536-32-0022 (新城市観光協会) 園東名「豊川IC」より20キロ、JR飯田線「長篠城」駅徒歩15分回無料
- 鳳来寺・表参道／園0536-32-0022 (新城市観光協会) 園東名「豊川IC」より35キロ、JR飯田線「本長篠」駅から豊鉄バス塩瀬または田口行き「鳳来寺」下車徒歩1時間
- 田峯城／園0536-64-5505 園東名「豊川IC」より43キロ、JR飯田線「本長篠」駅から豊鉄バス田口行き「田峯」下車徒歩20分回無料

## 「長篠の戦い」コース

信長が見た、空と大地「設楽原古戦場」。  
今でも鉄砲の弾丸が見つかるという。

「当時のまま残っている」といふ点において、この設楽原は、国宝級の古戦場である。馬防柵の前に立つと、両軍の配置や戦いの様子が、手に取るように想像できる。武田軍は、この日まで25年間無敗であった。「初めて後姿を見た」と感慨にふけた。「鉄砲の三段撃ち」「堅固な要塞」が勝因といわれているが、中世最強の騎馬軍団が、近世の覇者 織田信長に負けた戦いであった。この戦いは、大國に挟まれ翻弄された山家三方衆(龜山・奥平氏、長篠・菅沼氏、田峯・菅沼氏)の運命も大きく変えた。武田にいた菅沼氏は絶え、江戸の大名として幕末までつづいた。織田徳川にいた奥平氏は、



**長篠城址**  
奥平貞昌が守る長篠城を、1万5千の武田軍が包囲。この籠城戦が、合戦の発端となった。



**設楽原歴史資料館**  
「長篠の戦い」を詳細に解説した展示物と本物の火縄銃を展示。合戦の臨場感が伝わる。



**設楽原古戦場**  
織田徳川連合軍3万8千人と武田勝頼軍1万2千人が激突。馬防柵を再現。



**野田城址**  
武田信玄最後の戦場。約3万の武田軍に、菅沼定盈率いる500兵が1ヶ月防戦した。



**田峯城**  
菅沼氏の山城。長篠の戦いで、定忠が武田方についたため、敗戦後に廃城となる。



**鳳来寺・表参道**  
徳川家康の母・於大が、子宝を祈願し家康が生まれた、という伝説が伝わる。

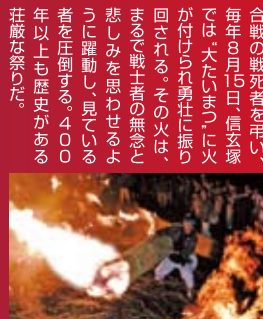


**医王寺**  
武田勝頼の本陣跡。境内には、出撃をいましめ勝頼に切られた「片葉の草」が残る。



**長篠城址史跡保存館**  
長篠城の攻防、血染めの陣太鼓、武田軍の遺品を展示。山家三方衆の資料も揃う。

## TOPICS

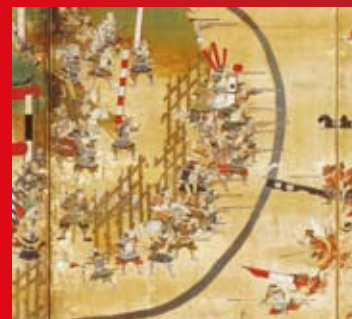


武田軍の無念と悲しみが伝わる新城市「ひおんどり」。



合戦の戦死者を弔い、毎年8月15日「信玄塚」では大たいまつに火が付けられ勇士に振り回される。その火は、まるで戦士者の無念と悲しみを思わせるように躍動し、見ている者を圧倒する。400年以上も歴史がある庄厳な祭りだ。

鉄砲隊が火を噴く。「長篠の戦い」をテーマにした2大合戦まつり。



「長篠合戦図屏風」(犬山城白帝文庫蔵)より



NOBUNAGA  
GUIDE BOOK

『織田信長ガイドブック』平成21年3月発行

企画／愛知県産業労働部観光コンベンション課

発行／愛知県産業労働部観光コンベンション課・社団法人 愛知県観光協会 イラスト／蒲 優祐 写真／水崎 薫

制作協力／愛知県武将観光推進会議

尾張地域観光まちづくりネットワーク会議

(一宮市・犬山市・江南市・小牧市・稲沢市・岩倉市・豊明市・清須市・(財)名古屋観光コンベンションビューロー)

\*パンフレット内で使用されている背景の地図は財団法人日本地図センターの25000段彩陰影画像を使用しています。

\*この冊子は古紙/バルブを含む再生紙を使用しています。



社団法人 愛知県観光協会  
AICHI PREFECTURAL TOURIST ASSOCIATION